

神戸文学館 文学イベントのご案内

クリスマス・アカペラ コンサート



2007年12月8日(土)
午後2時～3時半



出演 カレイドスコープ

かつて関西学院のチャペルとして建てられたこの神戸文学館で
関西学院グリークラブの指揮者である広瀬康夫さん率いるカルテットの
歌声をお聴きください。

開催場所：神戸文学館 セミナーエリア
受講・入館無料

申込み：定員40名 先着順(立ち見で聴講可能)
申込み方法：住所、氏名、電話番号をお知らせく
ださい。

- ・ハガキ：〒657-0838 神戸市灘区王子町
3-1-22 神戸文学館あて
 - ・電話・FAX：078-882-2028
 - ・E-mail：kobebungakukan@river.ocn.ne.jp
 - ・館内でも申込を受付しています。
- 申し込み後、参加出来ない時は電話してください。

神戸文学館 交通案内

阪急電車・王子公園駅 西出口から西へ約500
m

JR・灘駅 北出口から北西へ 約600m

阪神電車・岩屋駅から北西へ 約850m

市バス 王子動物園前から西へ 約200m

王子動物園西南角、赤レンガ造りのチャペル風建
物（元関学のチャペル跡、元市立王子図書館、
元王子市民ギャラリー）

神戸文学館

神戸文学館は、明治37年(1904) 関西学院のチャペルとして建てられた由緒ある建築です。歴史を感じる赤レンガ造りのチャペルの外観をそのまま残して平成5年4月に尖塔部分も完全に復元し、以来「王子市民ギャラリー」として神戸市民に親しまれてきました。

このたび、あの阪神・淡路大震災も乗り越えた、市内に現存する最古のレンガ造り教会建築物が、神戸にゆかりのある文学者たちの息吹を、今に伝える「神戸文学館」として、生まれ

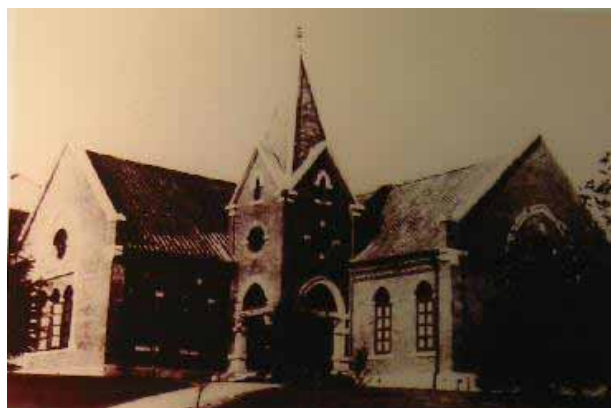
変わることとなりました。

神戸文学館は、明治以降の神戸にゆかりのある文学者を、時代ごとのテーマに沿って紹介、またサロンでは、神戸を愛し、神戸を描いた作家達の作品を自由にご覧いただけます。

(入館無料)

平成18年12月4日「神戸文学館」として、内装をリニューアルして開館しました。

原田の森にあった頃の関西学院



1904年10月 献堂式のランチ・メモリアル・チャペル



関西学院 原田校の航空写真



1910年頃のランチ・メモリアル・チャペルと校舎



ランチ・メモリアル・チャペルでの礼拝風景

神戸文学館の見どころ

平成5年4月 設計：一粒社ヴォーリス建築事務所 建築：新井組により、明治37年建築当時(百年前)の外観に甦りました。戦災で失われたままだったチャペルの尖塔や柱頭の飾りを古い写真を元に再現されました。柱頭の飾りは、アカンサス模様で、また梁の根元にも彫刻が施されています。

このチャペルの特徴は、ハンマービーム・トラスと呼ばれる大きなアーチ型の梁を組んで、屋根を支えています。スパン10.6mもあり歴史的にも貴重な建築物です。外壁は、焼夷弾により焼けた傷跡のあるレンガを一部そのまま使ってい

ます。レンガの積み方は、イギリス積み(レンガには他にフランス積み アメリカ積み等がある) また瓦も昔の瓦の色に合わせて、数種類の瓦をまぜてわざと古い感じを出しています。ステンドグラス窓にも大きな特徴があり、色は2種類ですがラムネ色をしています。また窓ガラスにも特徴があり葡萄蔓文模様の装飾が施されています。

神戸文学館は、神戸市内に現存する最古のレンガ造りの教会建築としてその優美な姿を21世紀に伝えていくことでしょう。